PC98-NX

活用ガイド
再セットアップ編

再セットアップするには

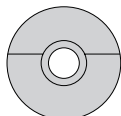
PC98-NX SERIES

VersaPro

(Windows® XP Professional、
Windows® XP Home Edition、
Windows® Millennium Edition、
Windows® 2000 Professional)

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。

●『はじめにお読みください』
次の内容について説明しています。
- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介

●『活用ガイド 再セットアップ編』
次の内容について説明しています。
- ・再セットアップの方法

◎『アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM』
『活用ガイド　PDF編』、『活用ガイド　HTML編』が収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

●『活用ガイド　PDF編』
次の内容について説明しています。
- ・各部の名称と役割
- ・省電力とセキュリティ
- ・周辺機器を使う
- ・システムの設定

●『活用ガイド　HTML編』
次の内容について説明しています。
- ・本機のおもな機能
- ・周辺機器の接続と設定
- ・添付アプリケーションの概要と追加/削除
- ・パソコンのメンテナンスと管理
- ・トラブル解決Q&A　など

このマニュアルは、パソコンを再セットアップする方法について説明しています。

2002年10月　初版

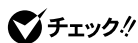
対象機種

Windows® XP Professionalインストールモデル
Windows® XP Home Editionインストールモデル
Windows® Millennium Editionインストールモデル
Windows® 2000 Professionalインストールモデル

VA22S/AE、VA18S/AG、VA18S/AF、VA13J/DG、VA12J/DF、VA12H/DX、VA20S/RF、VA17S/RX、VA15X/RF、VA15X/RX、VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX、VA11J/VH、VA93J/BH、VA73H/BH、VA93J/BL、VA73H/BL

853-810602-035-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

オールインワンノート（Aシリーズ）	VA22S/AE、VA18S/AG、VA18S/AFを指します。
オールインワンノート（Dシリーズ）	VA13J/DG、VA12J/DF、VA12H/DXを指します。
オールインワンノート（Rシリーズ）	VA20S/RF、VA17S/RX、VA15X/RF、VA15X/RX、VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RXを指します。
モバイルノート（VHシリーズ）	VA11J/VHを指します。
モバイルノート（BH、BLシリーズ）	VA93J/BH、VA73H/BH、VA93J/BL、VA73H/BLを指します。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵されているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブが内蔵または添付されているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブが内蔵または添付されているモデルのことです。
Office XP Personalモデル	購入時にOffice XP Personalがインストールされているモデルのことです。
Office XP Professionalモデル	購入時にOffice XP Professionalがインストールされているモデルのことです。
Office XPモデル	購入時Office XP PersonalまたはOffice XP Professionalがインストールされているモデルのことです。
【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「Phoenix BIOSセットアップユーティリティ」と表示されます。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 ・Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows XP Professional、Windows® XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows XP Home Edition、Windows® XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows Me、Windows® Millennium Edition	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000、Windows® 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows	Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows Me、Windows 2000のすべてを指します。
Office XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、MicrosoftBookshelf® Basic 3.0) ・Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、MicrosoftBookshelf® Basic 3.0)
Office XP Professional	Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2002

◆このマニュアルで使用しているイラスト、画面、記載内容について

・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

・本文中に記載されているCD/DVDドライブは、CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかを指します。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵または添付されています。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えします。ご購入元までご連絡ください。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.com
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。）。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

オールインワンノート(Aシリーズ／Rシリーズ(VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX))の場合

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■ Notes on export

This product(including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC※1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC※1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product(including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

オールインワンノート(Aシリーズ／Rシリーズ(VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX))以外の場合

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC※1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC※1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare℠ International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

＊1:NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

目　次

システムを修復する

ここでは、Windowsのシステム構成を変更したことで、正常にWindows が起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフ モードを利用してシステムを修復
p.1「セーフ モードで起動する」

↓

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復(Windows XP、Windows 2000のみ)
p.3「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」

↓

「システムの復元」を使用してシステムを修復(Windows XP、Windows Meのみ)
p.4「「システムの復元」を使用してシステムを修復する」

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復(Windows XP、Windows 2000のみ)
p.5「「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する」

↓

再セットアップを行う
p.10「再セットアップについて」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windowsを再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド　HTML編』の「添付アプリケーションの概要と追加/削除」をご覧ください。

セーフ モードで起動する

セーフ　モードは、Windowsを正常に起動させるために、最低限のデバイスドライバとサービスでシステムを起動するためのモードです。

新しく追加したデバイスや変更されたドライバが原因となっている場合は、セーフ モード起動後、原因となっているドライバを削除したり、変更を元に戻したりすると問題が解決する場合もあります。

次の手順でセーフ モードを起動できます。

■Windows XPの場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を何度か押す

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます。

3 【↑】を押して「セーフ モード」を選択し、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

セーフ モードで起動されるまでしばらくかかります。そのままお待ちください。

「Windows はセーフ モードで実行されています。」と表示されます。

チェック!! ログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択してください。

5 「はい」ボタンをクリックする

■Windows Meの場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに【Ctrl】を押し続ける

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

3 【↓】を押して「3.Safe mode」を選択し、【Enter】を押す

セーフモードが起動し、「ヘルプとサポート」ウィンドウが表示されます。

セーフ モードを起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題がある場合です。コントロールパネルで設定を確認してから、Windows Meを再起動してください。

■ Windows 2000の場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴが表示された後、画面下に「Windowsを起動していま す…」と表示されたらすぐに【F8】を押す

「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。

3 「セーフ モード」が選択されていることを確認し、【Enter】を押す

4 「オペレーティング システムの選択」画面が表示された場合には、画面左下に「セーフ モード」の表示があるのを確認し、Windows 2000を選び【Enter】を押す

しばらくすると「お待ちください...」画面が表示されます。

セーフ モードで起動されるまでしばらくかかります。そのままお待ちください。

5 「Windows はセーフ モードで実行されています。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する(Windows XP、Windows 2000のみ)

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- **前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。**
- **構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。**

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行います。

■ Windows XPの場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を何度か押す

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます。

3 【↑】を押して「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

Windowsが再起動します。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPを起動することができます。

■ Windows 2000の場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴが表示された後、画面下に「Windowsを起動しています…」と表示されたらすぐに【F8】を押す

「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。

3 「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」画面が表示された場合は【Enter】を押す

「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」画面が表示されます。

5 【L】を押して起動したいプロファイルを選択し、【Enter】を押す

Windowsが再起動します。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 2000を起動することができます。

「システムの復元」を使用してシステムを修復する(Windows XP、Windows Meのみ)

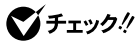
「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。

Windowsが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!! セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

参照 「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細について→Windowsのヘルプ

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する(Windows XP、Windows 2000のみ)

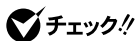
ファイルの破損などにより、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しなかった場合は、「Windows XP セットアップディスク」、または「Windows 2000 セットアップディスク」を作成し、システムを修復してください。

チェック!!

- **システムの修復を行うには十分な知識が必要です。
あらかじめWindowsのヘルプをご覧になり準備を行ってください。**
- **Windows 2000の場合は、システム修復ディスクが必要です。
システム修復ディスクの作成方法は、Windowsのヘルプをご覧ください。**
- **この作業にはフロッピーディスクドライブが必要です。オールインワンノート(Aシリーズ／Dシリーズ)、モバイルノート(VH、BH、BLシリーズ)の場合は、フロッピーディスクドライブが使用できるように準備しておいてください。
モバイルノート(VH、BH、BLシリーズ)のフロッピーディスクが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-BU04)が必要になります。取り付け方については、下記参照先をご覧ください。**

参照 **フロッピーディスクドライブについて→**

- **オールインワンノート(Aシリーズ／Dシリーズ)は、『活用ガイド　HTML編』「周辺機器の接続と設定」の「MultiBay」**
- **モバイルノート(VH、BH、BLシリーズ)は、『活用ガイド　HTML編』「本機のおもな機能」の「フロッピーディスクドライブ」**

Windows XPの場合は、「「Windows XP セットアップディスク」の作成」へ、Windows 2000の場合は、「「Windows 2000 セットアップディスク」の作成」(→p.7)へ進んでください。

◎「Windows XP セットアップディスク」の作成

チェック!! **「Windows XP セットアップディスク」を作成するには、1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクが6枚必要です。また、Microsoft社ホームページからダウンロードを行うための、インターネット接続環境が必要です。**

1 インターネットに接続し、Microsoft社の次の場所にアクセスする
〈Windows XP Professionalの場合〉
http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=33306
〈Windows XP Home Editionの場合〉
http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=33305

2 掲載されているプログラムをダウンロードし、実行する
画面の指示にしたがって「Windows XP セットアップディスク」の作成を行ってください。「Windows XP Setup Boot Disk」と「Windows XP Setup Disk」の#2、#3、#4、#5、#6の合計6枚が作成されます。
「Windows XP セットアップディスク」の作成が終了したら、自動的に「コマンドプロンプト」の画面が閉じます。

3 「Windows XP Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブにセットする

4 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を起動する

5 次のコマンドを実行する
「A:」を入力して【Enter】を押す
「expand -r txtsetup.si_ .」を入力して【Enter】を押す
「del textsetup.si_」を入力して【Enter】を押す
「exit」を入力して【Enter】を押す

6 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を起動し、Aドライブの「txtsetup.sif」を開く

7 [SetupData]セクションに次の修正をして、上書き保存する
[下記を追加する]
SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1

[「SetupSourcePath = "¥"」を下記に修正する]
SetupSourcePath = "¥Windows"

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)。
partitionはは、パーティションの番号です(1から始まります)。

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

チェック!! **この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。購入時はi386フォルダはCドライブのルートにあります。**
i386フォルダの場所を購入時から移動した場合、harddiskとpartitionの番号が変わりますので記述を変更してください。

以上で、「Windows XP セットアップディスク」の作成は終了です。
次に「「回復コンソール」の開始」へ進んでください。

◎「回復コンソール」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows XP Setup Boot Disk」をセットする

2 「Please insert the disk labeled」と表示されたら画面の指示にしたがって、セットアップディスクを入れ替え、【Enter】を押す
Windows XP Setup Disk #6が終了すると「セットアップの開始」の画面が表示されます。

3 【R】を押して、修復を選択する
キーボードを選択する画面が表示されます。

4 画面の指示にしたがってキーボードを選択し、【Y】を押す
回復コンソールが起動します。
このあと、回復コンソールのコマンドを用いて修復を行ってください。

◎「Windows 2000 セットアップディスク」の作成

チェック!! **「Windows 2000 セットアップディスク」を作成するには、1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクが4枚必要です。**

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「名前」に「C:¥BOOTDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

「コマンドプロンプト」の画面が表示されます。

チェック!! BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示にしたがって「Windows 2000 セットアップディスク」を作成してください。「Windows 2000 Setup Boot Disk」と「Windows 2000 Setup Disk」の#2、#3、#4の合計4枚が作成されます。セットアップディスクの作成が終了したら、自動的に「コマンドプロンプト」の画面が閉じます。

3 「Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブにセットする

4 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を起動し、Aドライブの「TXRSETUP.SIF」を開く

5 [SetupData]セクションに以下の記述を追加する

```
SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1
```

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)。
partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)。

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロール パネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

チェック!! この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。購入時はi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので、記述を変更してください。

以上で、「Windows 2000 セットアップディスク」の作成は終了です。
次に「「システム修復/回復コンソール」の開始」へ進んでください。

◎「システム修復／回復コンソール」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする

「Windows 2000 Setup」の画面が表示されます。
しばらくお待ちください。

2 「Please insert the disk...」と表示されたら画面の指示にしたがって、表示されている番号のセットアップディスクを入れ替え【Enter】を押す

Windows 2000 Setup Disk#4が終了すると「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

3 【R】を押して修復を選択する

キーボードの選択画面が表示されます。

4 画面の指示にしたがってキーボードを選択し、【Y】を押す

「Windows 2000修復オプション」画面が表示されます。

**5 回復コンソールを使用する場合は【C】を押す
システム修復処理を使用する場合は【R】を押す**

6 画面の指示にしたがって修復を行う

以上でシステム修復作業は終了です。

チェック!!

- **「システム修復ディスク」をバックアップ目的に使用することはできません。**
- **Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。**

再セットアップについて

ハードディスクの構成を変えるときや、パソコンのシステムが壊れてしまったときに、再セットアップ用データを使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

- ◆ **Cドライブ（ハードディスク）の構成を変えたい**
- ◆ **電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindowsが起動しない**
- ◆ **ハードディスクのプログラムが正常に動作しない**
- ◆ **ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった**

チェック!!

- **再セットアップを行うと、Windowsで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます。また、再セットアップを行うには、BIOSセットアップユーティリティで設定した内容を初期値に戻す必要があります（パスワードの設定を除く）。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。**
- **再セットアップ前にスーパバイザパスワードやユーザパスワードが設定されていた場合、それらの設定が再セットアップ後も引き続き有効になります。**

再セットアップの種類

再セットアップには、次の種類があり、内蔵ハードディスク内の「再セットアップ領域（これ以降『VersaPro Recovery System』と呼ぶ）」や「再セットアップ用CD-ROM」に格納されている再セットアップ用データを使用して再セットアップします。
詳しくは、p.12、p.13をご覧ください。

（HDは『VersaPro Recovery System』を使用した再セットアップができます。）

（CDは「再セットアップ用CD-ROM」を使用した再セットアップができます。）

- **Cドライブのみ再セットアップする**

CD HD　Cドライブの領域のみ再セットアップすることができます。
Cドライブのファイルシステムは次のページのように設定されます。

Windows XPの場合:NTFS

Windows Me、Windows 2000の場合:FAT32

Cドライブのデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

パソコン初心者の方やパソコンのシステムを購入時と同じ状態に戻したい場合は、この方法をおすすめします。

CD HD **・Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップする**

ハードディスクのサイズをGB単位で指定して再セットアップすることができます。残りの領域はDドライブとして作成されます。

Cドライブのファイルシステムは下記で設定されます。

Windows XP、Windows 2000の場合:NTFS

Windows Meの場合:FAT32

内蔵ハードディスクのすべてのデータが削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

複数(3つ以上)の領域にして使用する場合は、この再セットアップをしたあとにDドライブの領域をいったん削除し、領域を確保しフォーマットすると、領域を複数にすることができます。

参照 **領域の確保とフォーマットについて→「活用ガイド　HTML編」の「本機のおもな機能」の「ハードディスク」**

チェック!! **『VersaPro Recovery System』を使用した再セットアップの場合は、『VersaPro Recovery System』を除いた内蔵ハードディスクの容量を指定します。再セットアップしても『VersaPro Recovery System』は削除されません。**

CD HD **・CドライブをFAT16で再セットアップする(Windows Meのみ)**

Cドライブの領域をFAT16(約2GB)で再セットアップすることができます。残りの領域はDドライブ(FAT32)として作成されます。

内蔵ハードディスクのすべてのデータが削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

チェック!! **『VersaPro Recovery System』を使用した再セットアップの場合は、『VersaPro Recovery System』を除いた残りの内蔵ハードディスクの領域がDドライブになります。再セットアップしても『VersaPro Recovery System』は削除されません。**

CD **・ハードディスクの全領域を1つにして再セットアップする**

内蔵ハードディスクの領域をすべてCドライブにすることができます。

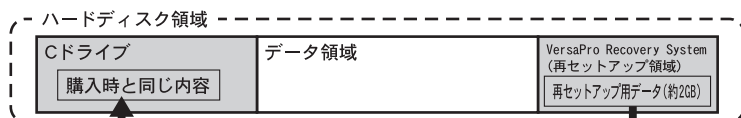
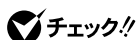
Cドライブのファイルシステムは次のページのように設定されます。

Windows XP、Windows 2000の場合:NTFS
Windows Meの場合:FAT32
内蔵ハードディスクのすべてのデータが削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

Ⓒⓓ・**『VersaPro Recovery System』を復旧する**

『VersaPro Recovery System』を内蔵ハードディスクに復旧します。
このとき、復旧時に選択する再セットアップで「Cドライブのみ再セットアップ」を選択すると、本機を購入時の状態に戻すことができます。また、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択すると、Cドライブのサイズを GB 単位で指定することもできます。
内蔵ハードディスクのすべてのデータが削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

『VersaPro Recovery System』を使用した再セットアップについて

購入時に内蔵ハードディスク内の『VersaPro Recovery System』に格納されている再セットアップ用データを使用して、本機を再セットアップします。

『VersaPro Recovery System』は、購入時に誤って削除しないように領域は見えなくなっています。なお、この領域は、約2GBです。

- **『VersaPro Recovery System』(「NEC-RESTORE」と表示されているドライブ)に対して、ファイルシステムの変更や削除、ダイナミック ディスクの設定を行うとこの再セットアップができなくなります。
この領域は、購入時の状態から変更や削除などしないでください。**
- **『VersaPro Recovery System』を削除する場合は、必ず「付録」の「『VersaPro Recovery System』を削除する」(→p.33)をご覧ください。**

「再セットアップ用CD-ROM」を使用した再セットアップについて

購入時に、内蔵ハードディスクにある『VersaPro Recovery System』の再セットアップ用データをCD-R媒体に書き出して、作成した「再セットアップ用CD-ROM」を使用して本機を再セットアップします。
「再セットアップ用CD-ROM」が添付されているモデルは、添付の「再セットアップ用CD-ROM」を使用して本機を再セットアップします。
内蔵ハードディスクの領域を自由に(『VersaPro Recovery System』を含め)使用したい、または全領域を1パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップしてください。

「再セットアップ用CD-ROM」が添付されていないモデルの場合は、作成または購入(有料)する必要があります。
作成する場合は、「「再セットアップ用CD-ROM」を作成する」(→p.20)をご覧ください。
お買い求めになる場合は、「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページをご覧ください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター
http://nx-media.ssnet.co.jp

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎ マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップをすることができません。また、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできない場合があります。

◎ 再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップをはじめたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。必ず最後まで通して行ってください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初から行ってください。
なお、再セットアップ中、オートパワーオフは無効になります。

◎ 内蔵ハードディスクに拡張パーティションを作成した場合の注意

内蔵ハードディスクに作成した拡張パーティションの中に論理ドライブが存在しない場合、再セットアップができません。
拡張パーティションを削除してから再セットアップしてください。

◎ ハードディスクをダイナミックディスクにした場合の注意（Windows XP、Windows 2000のみ）

・内蔵ハードディスクがダイナミックになっている場合は、「Cドライブのみ再セットアップ」、または『VersaPro Recovery System』を使用して再セットアップすることができません。再セットアップする場合は、それ以外の再セットアップを行ってください。
・セカンドハードディスクがダイナミックディスクになっている場合は、必要なデータをバックアップしたあと、Windows上でベーシックディスクに変更してから再セットアップを行ってください。

◎ Windowsの設定をするときは長時間放置しない

Windowsの設定をする際に、キー操作の必要な画面では長時間放置しないでください。

◎ タッチパネルをお使いの場合の注意（モバイルノート（BLシリーズ））

- タッチパネルは、再セットアップが完了するまで使用しないでください。
- 再セットアップが完了するまでは液晶ディスプレイに触れないでください。誤操作の原因になることがあります。

◎ 再セットアップ後の状態について

購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールしなおしてください。
また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定しなおしてください。

チェック!! **Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。**

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップを行う前に準備しておくことや、再セットアップ時の注意事項について説明しています。再セットアップを始める前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- **『はじめにお読みください』**
- **「再セットアップ用CD-ROM」(「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ)**

  添付されていないモデルをお使いの場合は、「「再セットアップ用CD-ROM」を作成する」(→p.20)をご覧になり作成してください。

- **「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」**

  『活用ガイド　PDF編』、『活用ガイド　HTML編』はこのCD-ROMに入っている電子マニュアルです。

- **「Office XP Personal」CD-ROM(Office XP Personalモデルのみ)**
- **「Office XP Professional」CD-ROM(Office XP Professionalモデルのみ)**
- **CD/DVDドライブ(「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合またはOffice XPモデルの場合のみ)**

  CD/DVDドライブが内蔵または添付されていないモデルをお使いの場合は、別売のCD/DVDドライブが必要です。「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、下記をご覧になり、同じ型番のCD/DVDドライブをご購入ください。

参照 **CD/DVDドライブについて→**

- **オールインワンノート(Aシリーズ／Dシリーズ)、モバイルノート(VHシリーズ)**
  『活用ガイド　HTML編』「周辺機器の接続と設定」の「VersaBay　IV」
- **オールインワンノート(Rシリーズ(VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX))、モバイルノート(BH、BLシリーズ)**
  『活用ガイド　HTML編』「本機のおもな機能」の「CD/DVDドライブ」

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!! **Windows XP、Windows 2000をマルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップを行ってください。**

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合やハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製(コピー)を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップユーティリティなどの設定は初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

◆ 控えておくもの

・インターネットのID
・インターネットのアドレス
・BIOSセットアップユーティリティの設定
・アクセスポイントの電話番号
など

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

・ワイヤレススイッチをオフにする(オールインワンノート(Rシリーズ(VA20S/RF、VA17S/RX、VA15X/RF、VA15X/RX))／モバイルノート(VH、BH、BLシリーズ)のみ)
・BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻す
・本機の電源を切る
・周辺機器を取り外す

・CD/DVDドライブを使える状態にする(「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ)
・ACアダプタを接続する

◎ ワイヤレススイッチをオフにする(オールインワンノート(Rシリーズ(VA20S/RF、VA17S/RX、VA15X/RF、VA15X/RX))/モバイルノート(VH、BH、BLシリーズ)のみ)

2.4GHzワイヤレスLAN、またはBluetooth™が内蔵されているモデルをお使いの方で、ワイヤレススイッチがオンになっている場合はオフにしてください。

◎ BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

次の手順でBIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻してください。

> BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻しても、スーパバイザパスワードやユーザパスワードは解除されません。

1 電源を入れて、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面表示されます。
表示されない場合はいったん電源を入れなおし、【F2】を押す間隔を変えてください。

2 【F9】を押す

「デフォルト値をロードしますか(Load Default configuration now?)」と表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押す

「設定の変更を保存して終了しますか?(Save configuration changes and exit now?)」と表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す

これでBIOSセットアップユーティリティの設定が初期値に戻りました。

◎ 本機の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合は、復帰(レジューム)してから電源を切ってください。

◎ 周辺機器を取り外す

セカンドハードディスクや周辺機器を取り外して『はじめにお読みください』をご覧になり、購入時と同じ状態にしてください。

◎ CD/DVDドライブを使える状態にする(「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ)

取り付け方については、次の参照先をご覧ください。

参照 **CD/DVDドライブについて→**

- **オールインワンノート(Aシリーズ/Dシリーズ)、モバイルノート(VHシリーズ)『活用ガイド HTML編』「周辺機器の接続と設定」の「VersaBay IV」**
- **オールインワンノート(Rシリーズ(VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX))、モバイルノート(BH、BLシリーズ)『活用ガイド HTML編』「本機のおもな機能」の「CD/DVDドライブ」**

◎ ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
「再セットアップをする」(→p.23)をご覧のうえ、再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

- **『Versa Recovery System』を使用して再セットアップする場合は、「『Versa Recovery System』を使用して再セットアップする」(→p.23)に進んでください**
- **「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(→p.25)に進んでください**

「再セットアップ用CD-ROM」を作成する

ここでの作業は、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブをお使いの場合のみの作業です。
上記以外のモデルをお使いの場合はこの作業はできません。別売の「再セットアップ用CD-ROM」が必要となります。
別売の「再セットアップ用CD-ROM」については、PC98-NXシリーズ メディアオーダーセンターのホームページ(→p.13)をご覧ください。

CDの作成に必要なCD-R媒体はWindows XPの場合は4枚、Windows 2000の場合は3枚、Windows Meの場合は2枚です。あらかじめ準備しておいてください。
「再セットアップ用CD-ROM」の作成には、約15分から1時間ほどかかります。(お使いのモデルや書き込み速度によって異なります。)

■CD作成時の注意

◆CD-R媒体は、700MBまたは650MBのものを用意してください。CD-R媒体以外では、CDを作成することはできません。

◆CDを作成する前にCD-R/RWドライブ、またはCD-R/RW with DVD-ROMドライブを使える状態にしてください。

参照 **CD-R/RWドライブ、またはCD-R/RW with DVD-ROMドライブについて→**

- **オールインワンノート(Aシリーズ/Dシリーズ)、モバイルノート(VHシリーズ)『活用ガイド HTML編』「周辺機器の接続と設定」の「VersaBay IV」**
- **オールインワンノート(Rシリーズ(VA12H/RF、VA12H/RX、VA11J/RF、VA11J/RX))、モバイルノート(BH、BLシリーズ)『活用ガイド HTML編』「本機のおもな機能」の「CD/DVDドライブ」**

◆「再セットアップ用CD-ROM」作成には「RecordNow DX」が必要です。『活用ガイド HTML編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「RecordNow DX」をご覧になり、追加してください。

◆「Norton AntiVirus」が動作していると、再セットアップ用CD-ROM作成ツール」が正しく動作しない場合があります。「Norton AntiVirus」を削除するか、次の設定をしてください。
通知領域のを右クリックして、「Norton AntiVirusの設定」を選択します。
表示された「Norton AntiVirusオプション」ウィンドウの「Auto-Protect」→「拡張」をクリックし「拡張オプション」の「ハードディスクのブートレコードへ書き込み」を「処理を許可する」にしてください。

◆書き込みエラーを防ぐためにCDの作成の前に以下の操作を行ってください。
・スクリーンセーバーが起動しないように設定する
・自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する
・起動中のアプリケーションをすべて終了する
・常駐プログラムをすべて終了する
・ACアダプタを接続する

◆CDの作成中に長時間放置しないでください。長時間放置すると書き込みエラーの原因になります。

◆パソコンに振動を与えないでください。振動や衝撃は書き込みのエラーの原因になります。

◆作成した「再セットアップ用CD-ROM」は紛失・破損しないように、保管には十分に気をつけてください。

■「再セットアップ用CD-ROM」の作成

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

2 「名前」欄に「MAKERECD」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
再起動をうながすメッセージが表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックする
Windowsが再起動します。
「再セットアップ用CD-ROM作成」ウィンドウが表示されます。

チェック!! ログイン画面が表示された場合は、手順1、2を行ったユーザーと同一のユーザーでログインしてください。

4 「スタート」ボタンをクリックする
これ以降の操作は画面の指示にしたがってください。

チェック!!
- **内蔵のCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブをお使いの場合は8倍速以下を選択してください。**
- **USB CD-R/CD-RWドライブをお使いの場合は4倍速以下を選択してください。**
- **書き込みに失敗した場合は、速度を落としてから作成してください。**

- **「再セットアップ用CD-ROM」の書き出しがいったん終了すると、CDの再認識をするためにディスクトレイが自動的に開きます。続けて、ファイルの照合を行うので、CDは取り出さずにそのままディスクトレイを閉じてください。**

これで「再セットアップ用CD－ROM」の作成は終了です。

続けて、『VersaPro Recovery System』を削除する場合は、「付録」の「『VersaPro Recovery System』を削除する」(→p.33)をご覧になり、削除してください。

再セットアップをする

ここでは、Windowsの再セットアップについて説明しています。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

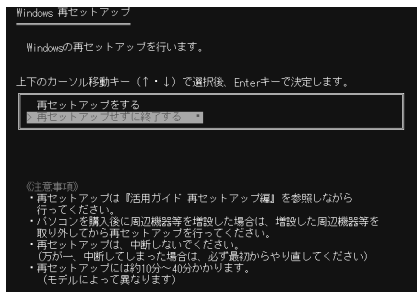
1. システムを再セットアップする
2. Windowsの設定をする
   『はじめにお読みください』の「Windows ＊＊のセットアップ」
   （＊＊はお使いのオペレーティングシステム）
3. アプリケーションを再セットアップする
   - **Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデルの場合**
     「Office XPの再セットアップ」(→p.28)
4. 各種の設定をする(→p.32)

『VersaPro Recovery System』を使用して再セットアップする

チェック!! **再セットアップの作業は中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで行ってください。**

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたら【F11】を数回押す

しばらくすると、次の画面が表示されます。

チェック!! **【F11】を押すタイミングが遅いと、この画面が表示されません。画面が表示されない場合は、いったん電源を入れなおし【F11】を押す間隔を変えてください。**

再セットアップにかかる時間は、お使いのモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

このあとは、画面の指示にしたがって操作を行ってください。
再セットアップ作業が終了したら、続けて「◎Windowsの設定をする」に進んでください。

チェック!! **Windows 2000で、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を行う場合、Cドライブのサイズを3GBに指定すると、アプリケーションやメモリサイズによって、ページ ファイルなどを作成するためのハードディスクの容量が不足する場合があります。4GB以上でサイズ指定をすることをおすすめします。**

◎ Windowsの設定をする

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「Windows ＊＊のセットアップ」（＊＊はお使いのオペレーティングシステム）の手順にしたがってWindowsの設定を行ってください。

チェック!!

- **Office XPモデルの場合は、Windowsのセットアップ中に「Microsoft® Office XP Service Pack 1」のインストール手順がありますがインストール手順は行わないでそのまま次に進んでください。インストールはOffice XPの再セットアップ時に行います。**
- **Windows XPの場合、必ず『はじめにお読みください』の「USBモードの設定」の内容を行ってください。**

＊ 本機では、Symantec Ghostを使用しています。Symantec Ghostにつきましては、C:¥GHOST.TXTをご覧ください。

チェック!! ・Windows 2000の場合、Windows 2000 Service Pack 3 日本語版(以下Service Pack 3)がインストールされています。Service Pack 3はWindowsのセットアップ直後にしか削除することができません。Service Pack 3を削除する場合は、『活用ガイド　HTML編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

このあとはご使用のモデルにより手順が異なります。

- Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデル
  →「Office XPの再セットアップ」(→p.28)へ

- 上記以外のモデル
  →これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(→p.32)へ進んでください。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする

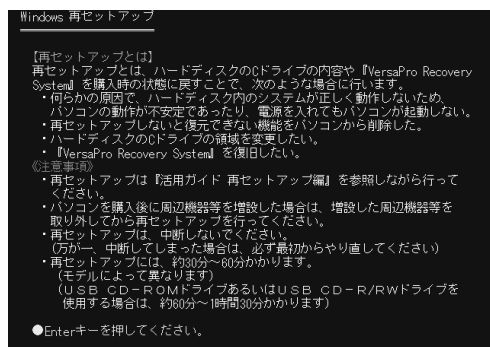
チェック!! ・再セットアップの作業を中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

・電源を入れるなど準備の必要なCD/DVDドライブをお使いの場合は、CD-DVDドライブを使える状態にしておいてください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴが表示されたらすぐ「再セットアップ用CD-ROM(1枚目)」をCD/DVDドライブにセットする**

チェック!! CD/DVDドライブを選択する画面が表示された場合は、お使いのCD/DVDドライブを選択してください。

しばらくすると次の画面が表示されます。

チェック!! 「再セットアップ用CD-ROM(1枚目)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、電源を切ってもう一度手順1からやりなおしてください。

> 再セットアップにかかる時間や、CD-ROMの枚数はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

このあとは、画面の指示にしたがって操作を行ってください。

チェック!!

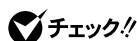
- **Windows 2000で、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を行う場合、Cドライブのサイズを3GBに指定すると、アプリケーションやメモリサイズによって、ページ ファイルなどを作成するためのハードディスクの容量が不足する場合があります。4GB以上でサイズ指定をすることをおすすめします。**
- **USB CD/DVDドライブをお使いの方で、Windows Me、Windows 2000の場合、最後のCDをCD/DVDドライブから取り出すよう要求された場合は、CDを取り出した後に、CD/DVDドライブをUSBコネクタから必ず外してください。**
- **Windows XPの場合で、「『VersaPro Recovery System』を復旧する」以外の再セットアップの場合は、最後のCD-ROMのファイルのコピーが終了すると、本機が再起動します(モバイルノート(BH、BLシリーズ)をお使いの場合は、画面にしたがって、いったん電源を切り、入れなおしてください)。CD-ROMはWindowsのセットアップが完了するまで取り出さないでください。**
- **「『VersaPro Recovery System』を復旧する」を選択した場合は、復旧後必ず手順にしたがって再セットアップを行ってください。**

再セットアップ作業が終了したら、続けて「◎Windowsの設定をする」に進んでください。

◎Windowsの設定をする

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「Windows **のセットアップ」(**はお使いのオペレーティングシステム)の手順にしたがってWindowsの設定を行ってください。
Windowsの設定が完了したら、『VersaPro Recovery System』が内蔵ハードディスクに存在しない場合は、エクスプローラを起動し、次のものを削除してください。

・Windows XP、Windows 2000の場合
C:¥Documents and Settings¥All Users¥スタートメニュー¥プログラム¥ツール

・Windows Meの場合
C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥ツール

・Office XPモデルの場合は、Windowsのセットアップ中に「Microsoft® Office XP Service Pack 1」のインストール手順がありますがインストール手順は行わないでそのまま次に進んでください。インストールはOffice XPの再セットアップ時に行います。

・Windows XPの場合、必ず『はじめにお読みください』の「USB動作モードの設定」の内容を行ってください。

・Windows 2000の場合、Windows 2000 Service Pack 3日本語版(以下Service Pack 3)がインストールされています。Service Pack 3はWindowsのセットアップ直後にしか削除することができません。Service Pack 3を削除する場合は、『活用ガイド　HTML編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

このあとはご使用のモデルにより手順が異なります。

・Office XP Personalモデル/Office XP Professionalモデル
→「Office XPの再セットアップ」(→p.28)へ

・上記以外のモデル
→これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(→p.32)へ進んでください。

Office XPの再セットアップ
(Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデルのみ)

チェック!!

- **Office XPを再セットアップする前にCD/DVDドライブを使える状態にしておいてください。**
  CD/DVDドライブ接続後再起動するようメッセージが表示された場合は、再起動を行ってください。
- **Windows XP Professionalの場合は必ずコンピュータの管理者アカウントでログオンしてOffice XPの再セットアップを行ってください。**
- **Windows 2000の場合は必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてからOffice XPの再セットアップを行ってください。**
- **Office XPを再セットアップすると、Office XPのアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」ウィンドウまたは、「Microsoft Office XP Professional ライセンス認証ウィザード」ウィンドウが表示されます。この場合は、Office XPに添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧になり、ライセンス認証を行ってください。**
- **Office XPの再セットアップ中、「ここにショートカットを作成することはできません。デスクトップ上に作成しますか?」と表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。**

1 「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットする

自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると「ユーザー情報」と表示されます。

2 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクト キー)」を入力する

ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクト キーをここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクト キーの入力作業が必要なくなります。プロダクトキーは、「Office XP Personal」または「Office XP Professional」のCD-ROMケースの裏側に貼られた黄色のシールに記載されています。

チェック!! Windows 2000の場合で「Windows 2000の紹介」ウィンドウを表示させている場合は、このウィンドウがうしろに隠れてしまう場合があります。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

4 ウィンドウの内容をよく読み、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする

インストールの種類を選択するウィンドウが表示されます。

5 「カスタム」の○をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

インストールするOffice XPのアプリケーションを指定するウィンドウが表示されます。

6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の○をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

インストールするアプリケーションを選択するウィンドウが表示されます。

7 (Microsoft Office)をクリックし、表示されるメニューから「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする

灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。

8 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

[+]をクリックすると下の階層が表示されます。

実行すると、(読み上げ)がに変わります。

9 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

[+]をクリックすると下の階層が表示されます。

実行すると、(音声)がに変わります。

10 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

[+]をクリックすると下の階層が表示されます。

実行すると、(音声アプレット)がに変わります。

このあと、お使いのWindowsにより手順が異なります。

- **Windows XP/Windows 2000の場合**

  手順12に進んでください。

- **Windows Meの場合**

  手順11に進んでください。

11 「Office ツール」-「高速検索のサポート」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (高速検索のサポート)が に変わります。

12 「次へ」ボタンをクリックする

インストール内容の確認ウィンドウが表示されます。

13 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動のメッセージが表示されます。

14 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

15 CD/DVDドライブからCD-ROMを取り出す

このあと、「Microsoft® Office XP Service Pack 1」をインストールします。

添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の¥OFFICE10¥SP1INST.HTMをご覧になり以下のものををインストールしてください。
Windows XPの場合、「Office XP SP-1 アップデート(標準アップデート)」
Windows Me、Windows 2000の場合、「Office XP SP-1 アップデート(標準アップデート)」、「Office XP 入力システム アップデート」

チェック!!

- **インストール中に他のアプリケーションが起動していると、アプリケーションを終了するようにうながすウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「無視」ボタンをクリックしてください。**
- **インストール中に「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMが必要になるのであらかじめ用意しておいてください。**

インストール後、任意の場所に保存したファイル「０ＸＰＳＰ１．ＥＸＥ」や「0XPAUIU.EXE」は削除することをおすすめします。

これで再セットアップは終了です。
p.32の「各種の設定をする」に進んでください。

各種の設定をする

機器や設定を元に戻す

◎ 機器を取り付ける

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元通りに取り付け、機器の設定を行ってください。

参照 **周辺機器を設定する→『活用ガイド PDF編』の「PART3 周辺機器を使う」または『活用ガイド HTML編』の「周辺機器の接続と設定」**

◎ パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSセットアップユーティリティなどのパソコンの設定をやりなおしてください。

> 再セットアップ前にユーザパスワードやスーパバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。
> プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやりなおす必要はありません。

モバイルノート(BLシリーズ)の場合、タッチパネルの入力の誤差をなくすため、再セットアップ完了後にタッチパネルの座標修正を行ってください。
タッチパネルの座標修正については、『活用ガイド HTML編』の「本機のおもな機能」の「タッチパネル」「座標を修正する」をご覧ください。

◎ アプリケーションをインストールしなおす

パソコンを購入後にインストールした別売のアプリケーションや、添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは、再セットアップ後には消去されています。あらためてインストールしなおしてください。

チェック!! **Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。**

付録

ここでは、『VersaPro Recovery System』の削除方法、復旧方法を説明しています。

『VersaPro Recovery System』を削除する

『VersaPro Recovery System』を削除します。

- **購入後、『VersaPro Recovery System』(「NEC-RESTORE」と表示されているドライブ)に、フォルダまたはファイルを作成した場合、大切なデータはバックアップが必要です。**
- **「再セットアップ用CD-ROM」が添付されていないモデルの場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を入手(作成、または購入)するまでは『VersaPro Recovery System』は削除しないでください。**
- **『VersaPro Recovery System』を削除すると『VersaPro Recovery System』を使用した再セットアップができなくなります。『VersaPro Recovery System』を復旧させるためには「再セットアップ用CD-ROM」を使用して「『VersaPro Recovery System』を復旧する」を行う必要がありますので、『VersaPro Recovery System』を削除する場合は注意してください。**

◆Windows XP、Windows 2000の場合

この操作は管理者、または、Administrator権限を持つユーザーで行ってください。

1 「コンピュータの管理」を起動する

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されます。

- **Windows XPの場合**

  「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」をクリックまたはダブルクリックすると起動します。

- **Windows 2000の場合**

  「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」をクリックまたはダブルクリックすると起動します。

2 「ディスクの管理」をクリックする

3 「ディスク0」の最後尾に割り当てられている「NEC-RESTORE」ドライブをクリックする

4 「操作」メニュー →「すべてのタクス」の「パーティションの削除」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

5 「はい」ボタンをクリックする

6 「スタート」ボタン→「(すべての)プログラム」-「アクセサリ」-「エクスプローラ」をクリックする

7 次のフォルダが存在する場合は削除する

「C:¥Documents and Settings¥All Users¥スタートメニュー¥プログラム¥ツール」

これで『VersaPro Recovery System』の削除は終了です。

◆Windows Meの場合

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOS プロンプト」をクリックする

「MS-DOS　プロンプト」ウィンドウが表示されます。

2 「FDISK」と入力して【Enter】を押す

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されます。

3 「Y」になっていることを確認して、【Enter】を押す

「FDISK　オプション」の画面が表示されます。

4 【3】(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す

5 **エクスプローラ等に「NEC-RESTORE」ドライブが表示されている場合は、【1】(基本MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す 表示されていない場合は【4】(非MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す**

6 **ボリュームラベルに「NEC-RESTORE」(または種類で「Non-DOS」)と表示された領域を選び(3の場合は【3】を押す)、【Enter】を押す**

7 **「ボリュームラベルを入力してください」と表示された場合は、「NEC-RESTORE」と入力して【Enter】を押す**

確認のメッセージが表示されます。

8 **【Y】を押して【Enter】を押す**

領域を削除しましたというメッセージが表示されます。

9 **【Esc】を押す**

「FDISK　オプション」の画面が表示されます。

10 **【Esc】を押す**

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。

11 **【Esc】を押す**

12 **「MS-DOS　プロンプト」を終了する**

13 **Windowsを再起動する**

14 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エクスプローラ」をクリックする**

15 **次のフォルダが存在する場合は削除する 「C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥ツール」**

これで『VersaPro Recovery System』の削除は終了です。

『VersaPro Recovery System』を復旧させる

『VersaPro Recovery System』を復旧させるためには、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して「『VersaPro Recovery System』を復旧する」を行ってください。
「『VersaPro Recovery System』を復旧する」については「再セットアップの種類」をご覧ください(→p.10)。

活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX SERIES

VersaPro

(Windows® XP Professional、
Windows® XP Home Edition、
Windows® Millennium Edition、
Windows® 2000 Professional)

初版　2002年10月
NEC
P
853-810602-035-A